

情報工学実験Ⅱ

平成 28 年度 前期
宇都宮大学 工学部 情報工学科

1. 目的

計算機のハードウェア、アーキテクチャ、ネットワークについて、講義で学んだことを実際に確かめることによって、知識を確実なものとし、計算機とその周辺装置を設計する基礎を身につけることを目的とする。

2. 実験テーマ・担当者

テーマ名	担当 (部屋番号	電話番号)
(1) マイクロプログラミング	大津 (9-506	689-6284)
(2) メモリインタフェースの製作	石川 (9-606	689-6287)
(3) HDL によるハードウェア設計	大川 (9-505	689-6270)
(4) ネットワーク実験	羽多野 (9-307	689-6255)
	全体	川上 (9-105 689-6273)
	全体	月川 (9-105 689-6269)
	全体	北本 (9-105 689-6299)

TA (大学院生)

マイクロプログラミング	全員
HDL によるハードウェア設計	菊池 松本 進藤 渡邊
メモリインタフェースの製作	三浦 藤田 舘 中田
ネットワーク実験	安部 新目 加藤 木村

情報工学実験室 電話番号 689-6291 ネットワーク実験室 電話番号 689-6295

情報工学実験Ⅱの Web ページを下記のアドレスにて用意しているので参照すること。
(各テーマへのリンクが張ってある.)

<http://www.ced.is.utsunomiya-u.ac.jp/lecture/2016/jikken2/>

3. 班

- (1) 1 班 4 ないし 5 名, 1 テーマ 7 班, 計 21 班.
- (2) 班分けは, 4 月 11 日の出席状況によって決定し, 掲示する.

4. 出欠

- (1) 単位取得のためには, 全回出席すること, および, 授業中に課せられたすべてのレポートが受理されることが必要である. 無断欠席は認めない. 正当な理由があつてやむをえず欠席した場合は, 別途考慮する. 前記の条件を満たしたのに対し, レポート内容, レポート提出状況, 授業態度等を総合して評価を行う.
- (2) 病気やケガなど, 正当な理由があつてやむをえず欠席する場合には, 事前に必ず担当教員に連絡すること. 再実験などについて担当教員から指示される. 担当者には電話またはメールで直接連絡すること. また, 欠席などの正当な理由を担当者に連絡する際に, 証明書等が必要になる場合がある.
- (3) 遅刻やレポート提出の遅れは, 成績評価の際に減点の対象となる. レポート提出の遅れによる減点は, 遅れ日数に伴って増加するので, 提出期限を必ず守ること.

- (4) 30 分以上の遅刻は欠席として扱われるので注意すること。

5. レポート

- (1) レポートの提出期限は、原則として各実験が終了した日の翌週の月曜日（初回のみ水曜日）とする。提出先および提出締め切り時間は、各担当教員が指定する。なお、実験テーマによっては担当教員が提出日時を指定することがあるので、その際は担当教員に従うこと。
- (2) レポートは、「課題内容を理解し、分かりやすく説明されているか」等を総合して評価を行う。レポートの内容から、課題についての理解が不十分と判断された場合には、別途、口頭試問またはペーパーテストが課され、成績評価が決定される。
- (3) レポートには、以下の 2 点が必要である。
 - ① レポートの書式を満足している。
 - ② 必要事項がもれなく記載されている。
- (4) レポートの書式については情報工学実験Ⅰ実験指導書の「レポートの形式、グラフの書き方について」を参照すること。レポートが受理された者に対してのみ、評価が行われる。
- (5) レポートは、レポート提出期限までに完成させて提出すること。ただし、書式の不備に関しては、書式修正期限までに、1 回だけレポートを修正できる。なお、書式の修正時に、内容の大幅加筆・改変があった場合には、レポート提出期限からの遅延として扱われ、減点の対象となるので注意すること。
- (6) 過去および知人のレポートのコピー&ペースト、または WEB サイト等のから不適切な引用が発覚した場合は、それを実行した者・実行させた者を問わず、厳格に処罰するので絶対にしないこと。

6. 一般的注意事項

- (1) 予め、プリントをよく読み、すぐに実験を始められるようにしておくこと。
- (2) 器具や素子を壊した場合には、直ちに担当者に申し出ること。報告を怠ると、以後の実験に差し支え、後の班が迷惑する。
- (3) 実験は、実験時間以内（月曜日：14:30～16:55、水曜日：12:50～15:15）に終わること。終わらない場合には、担当教員にその旨報告し、指示をうけること。
- (4) 実験準備室には無断で入らないこと。
- (5) 実験室及びネットワーク実験室内での飲食・喫煙は禁止。
- (6) 実験終了後は配線等を外して実験台の上を整理すること。また、実験室の掃除をしてもらう。

7. テーマごとの注意事項

【マイクログプログラミング(実施場所：[前半] 911・[後半] ネットワーク実験室Ⅰ)】

実験の Web ページにて資料を参照できるので、予習をしておくこと。

【メモリインタフェースの製作(実施場所：情報工学実験室)】

事前レポート(課題 3-1 の回路設計)を実験開始の前週金曜日(テーマ 1:5/6, テーマ 2:5/20, テーマ 3:6/3)に技官室前箱に提出のこと。タイミングチャートと回路図は必ず方眼用紙に手書きのこと。(PC 等の作図は不可)

【HDLによるハードウェア設計(実施場所：ネットワーク実験室Ⅰ)】

実験資料は、下記の Web で参照できる。PC 画面上で確認できるが、必要に応じて各自印刷してもよい(ただし、無駄に印刷しないこと)。その他、必要に応じて参考資料を授業中に配布する。

<http://www.ced.is.utsunomiya-u.ac.jp/lecture/2016/jikken2/hdl/>

【ネットワーク実験(実施場所：情報工学実験室)】

初回時に小テストを行います。配布された資料だけではなく、USB メモリを必ず持参すること。